株式会社ジェイコム東京 すみだ・台東局
放送番組審議会 議事録

令和 3 年度（2021 年度）株式会社ジェイコム東京 すみだ・台東局 放送番組審議会は、
2022 年 3 月 22 日（火）に株式会社ジェイコム東京 すみだ・台東局で開催された。

【放送番組審議会委員】

出席

酒井 孝昌 様
高橋 正実 様
松本 潔 様（50 音順）

欠席

川口 卓志 様
南部 友孝 様（50 音順）

○審議会議長選任

議長に松本委員を選任した

事業者側から現況報告及び J:COM チャンネルの取り組み、主にジェイコム東京 すみだ・台東局で放送されている
番組に関する報告があった

【審議：質疑応答】（松本議長による進行）

① 全体について

（委員）

- ・すべての番組は見られないが、改めて拝見すると地元に着したよい番組であると思う。
- ・NHK 等広域放送と違い、地域の視点で番組を作ってもらえるので、放送される映像は地域の宝になっているのではと思った。
- ・コロナの状況でイベントも中止になったものが多い中、工夫を凝らし開催した錦糸町河内音頭、浅草サンバカーニバルなど多くのイベントがあった。
また、実施したイベントについては、取材をしていただき広く案内していただいた。
- ・集客を目的としたイベントが行えず、商店街などは苦慮しているが、錦糸町河内音頭や浅草サンバカーニバルなど継続して実施されていることを放送することで、私たち区民は、お祭り継続の大切さなどを感じるのでは。地域の情報を継続し広く報じていただきたい。

② 今後の番組について

（委員）

- ・銭湯など紹介はどうか？ 残念ながらだいぶ閉店に追い込まれてしまっているところが多い。
昔は多かった銭湯も半分以下になってきているため紹介しても面白い。

また、銭湯には下町ながらのマナーや情緒もある。忘れてはいけないことも紹介できるのでは。

・昔からいる人同士だとみんなお互い様という意識があったが、地域を知らないと考え方も異なる為 地域の情報は良いと思う。

③ 番組の作り方について

(事業者)

・前回の番組審議会にてテロップの色合いや文字サイズなど意見をいただいたが現状はいかがですか？

(委員)

・書体が読みやすいものになり、普段からも修正していただいていることがわかる。

一方で、画面内に情報量が多いと感じた。J:COMとしてのカラーを決めマニュアルを作り、ブランディングができればよいのでは。

④ 番組について

(委員)

・町工場の社長が番組に出るなど、ものづくりの方たちが紹介されるようになり、うれしい。

・「ふくあじ」は、ほのぼのしているお店を紹介していただいているため、つい見してしまう。

機会があったら足を運んでみたい。

・自分が住んでいるエリアでは墨田区の広報番組は見られるが、台東区の番組は見られない。ニュース番組が5区を対象にしているのは参考になるのでありがたい。

⑤ 素材ライブラリーについて

(委員)

・このエリアは、「日本初の●●」「東洋初の●●」など知られていない記録が残っている。昔の記録を残していくことも大切。

・埋め立てられて、無くなってしまった川などが見られるような、昔の風景を紹介する番組が見たい。昔の映像などライブラリーはあるのか？

(事業者)

・J:COMは、ケーブルテレビ会社がいくつも合併してできた経緯がある為、ライブラリーとしてまとまっているものが少ないが、今回「浅草サンバカーニバル」では地域の皆様から素材を集め制作しました。

地域より昔の映像などを集め、アーカイブとして保存していくことも視野に入れます。

⑥ 行政とのかわりについて

(委員)

・本日は行政からの出席は無いが、広報番組を制作するにあたって、意見交換、情報交換などどのようにしているか？

(事業者)

・年間スケジュールを立て、都度、行政サイドにニーズを伺いながら制作・放送しております。

閉会（事務局）

貴重なご意見・ご要望を番組制作に活かしていく所存です。

以上